

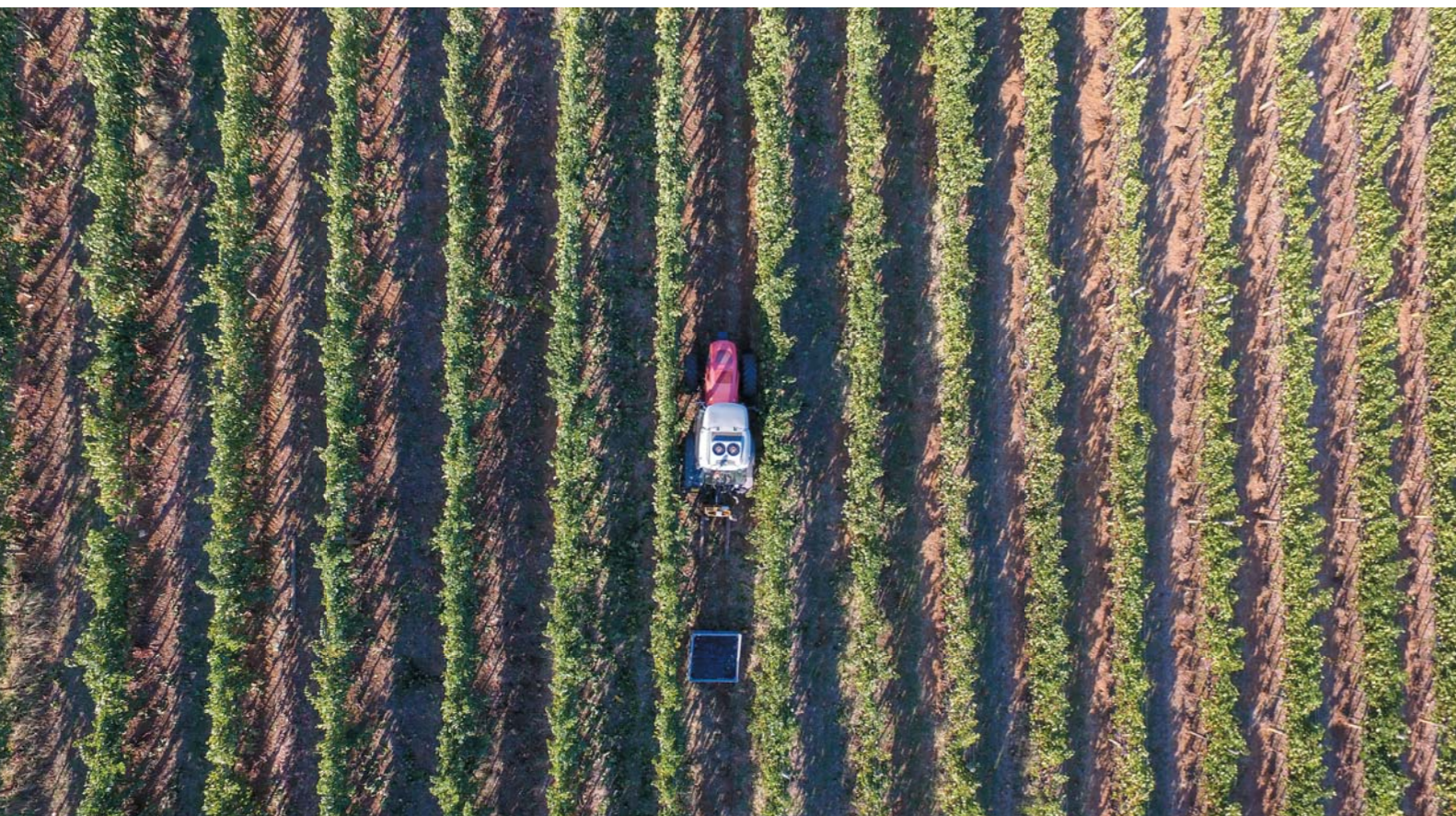


テヌータ・ディ・ビセルノ

TENUTA DI BISERNO

アンティノリ伯爵兄弟が実現させた最後で最高の夢

トスカーナ州 テヌータ・ディ・ビセルノ



OCCHIONE

オッキオーネ

輝きを持つ明るい黄色。熟したリンゴやピンクグレープフルーツなどの柑橘系ニュアンスの生き生きとした香り。繊細ながらもきりりと引き締まった味わいで、アフターはヴィオニエなどのまるやかでこくのある果実を思わせ、塩味とミネラルのバランスが素晴らしい。

タイプ	白/辛口
ぶどう品種	ヴェルメンティーノ 90%、 その他白ブドウ 10%
原産地呼称	
I.G.T.	
熟成	ステンレスタンク

750ml × 6 4948657 402043

上代 750ml ¥3,500



INSOGLIO DEL CINGHIALE

インソリオ・デル・チンギアーレ

ブラックベリーやプラムにかすかにスパイスが香る。生き生きとしたフレッシュさとバランスのとれた味わい。柔らかく心地よいタンニンと滑らかな口当たりで、スムーズなフィニッシュを楽しむ。

タイプ	赤/ミディアムボディ
ぶどう品種	シラー、カベルネ・フラン、 カベルネ・ソーヴィニヨン、 メルロー、プティ・ヴェルド
原産地呼称	
I.G.T.	
熟成	

750ml × 6 4948657 402036

上代 750ml ¥3,800



IL PINO DI BISERNO

イル・ピノ・ディ・ビセルノ

赤いベリー系の果実やコーヒー、リコリス、カシスなどの複雑ながらもエレガントで芳醇な香り。果実味あふれるふくよかな味わいと、きめの細かいシルキーなタンニンで、バランスの良い余韻が続く。

タイプ	赤/フルボディ
ぶどう品種	カベルネ・フラン、メルロー、 カベルネ・ソーヴィニヨン、 プティ・ヴェルド
原産地呼称	
I.G.T.	
熟成	

750ml × 6 4948657 402029

上代 750ml ¥7,800



BISERNO

ビセルノ

赤い果実やスパイス、粉碎したコーヒー豆などの複雑で甘美な香り。ペルベットのよう滑らかなタンニンと深みのあるリッチな風味が広がる。心地よい酸味とミネラルを豊富に感じるバランスのとれた味わい。余韻は長くエレガント。

タイプ	赤/フルボディ
ぶどう品種	カベルネ・フラン、メルロー、 カベルネ・ソーヴィニヨン、 プティ・ヴェルド
原産地呼称	
I.G.T.	
熟成	

750ml × 6 4948657 402012

上代 750ml ¥22,000

85%をフランス産バリックの新樽で、15%をセカンドフィルのバリックで15か月+瓶内6か月

オルネライア、マッセート、そして次の伝説へ

テヌータ・ディ・ビセルノは、イタリア最高峰のワインと称される伝説的ワイン「オルネライア」と「マッセート」を生み出した名門アンティノリ家のロドヴィコ・アンティノリ侯爵が自身の最後で最高の夢として実現させたプロジェクトです。

ロドヴィコがこのプロジェクトをスタートさせたのは、テヌータ・デル・オルネライアを売却した直後の2002年のこと。彼の兄で名門であるアンティノリの名声を築いたアンティノリ家26代目現当主ピエロ・アンティノリ侯爵と兄弟で取り組んだ初めてのワイナリーです。

テヌータ・ディ・ビセルノはトスカーナの西部、ティレニア海を臨む北にビッポーナ、南にボルグェリに挟まれたワインの銘醸地、アルト・マレンマの丘陵地に所在します。この土地はサン・テミリオンとポムロールの特徴を併せ持つマッセートの土壌に通じるものがありながら、ロドヴィコはカベルネ・フランの栽培にポテンシャルを見出し、カベルネ・フランを主体としたワイン造りを行うことを決断します。ボルグェリの地から生み出してきた数々の伝説的ワインと同様、ボルドースタイルに

傾倒しながらも、カベルネ・フランをメインにした新たな挑戦でした。

この挑戦を成功させるためにロドヴィコが声をかけたのは、オルネライアやマッセートを一緒に生み出したミシェル・ロラン氏でした。長年の友人でもあったロラン氏はこの申し出を快諾。ロラン氏をコンサルタントに迎え本格的にワイン造りがスタートします。

45haの自社畑には2001年から2005年の間にカベルネ・フランを中心にメルロー、カベルネ・ソーヴィニヨン、プティ・ヴェルドが植樹され2003年にはインソオ・デル・チンギアーレのファーストヴィンテージが造られました。石灰質、石が多い土質や、砂質、泥質など、多様な性質が重なり合う土壌とティレニア海から吹き込む冷涼な風や反射光などの好条件が突出したブドウ造りを可能にしています。

2012年のプロジェクト正式発表後、早速世界中のワイン評価誌で高得点を獲得。伝説のメンバーがタッグを組んだ新ワイナリーへ熱い注目が集まっています。



オーナー ロドヴィコ・アンティノリ侯爵 (右)、ピエロ・アンティノリ侯爵 (左)